

2021年5月31日(月)9:50~10:10

司 会:日高杏奈桃子(保育科学生) メッセージ:野間光顕(人文学部特任講師)

奏 楽:小野基子(宗教部職員)

【前 奏】

【讃 美】 讃美歌21-343番「 聖霊よ、降りて 」1、4節

【主の祈り】

学にまします我らの交よ、ねがわくは御名をあがめさせたまえ。 御国を来たらせたまえ。みこころの学になるごとく、地にもなさせたまえ。 我らの旨用の糧を今日も写えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赧すごとく、 我らの罪をも赦したまえ。我らをこころみに会わせず無より赦い茁したまえ。 国と労と榮えとは限りなく後のものなればなり。アーメン。

【聖書朗読】旧約聖書 創世記1章31節~2章3節(p.2)

「31 神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。1 天地万物は完成された。2 第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なさった。3 この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なさったので、第七の日を神は祝福し、聖別された。」

Old Testament, Genesis 1:31~2:3

'31 God saw everything that he had made, and indeed, it was very good. And there was evening and there was morning, the sixth day. 1 Thus the heavens and the earth were finished, and all their multitude. 2 And on the seventh day God finished the work that he had done, and he rested on the seventh day from all the work that he had done.

3 So God blessed the seventh day and hallowed it, because on it God rested from all the work that he had done in creation.'

【メッセージ】

「 夕べがあり朝があった 」

野間光顕

!!

【祈祷】

【後 奏】

【報告】